



在宅患者において抗コリン作用がある OTC医薬品のリスクを回避した一症例

○島田顕¹、鈴木伸悟¹、富田真吾¹、中村洋明¹、小林弘忠¹

¹ガーデン薬局



MEDICAL
GARDEN

【背景・目的】

令和6年度調剤報酬改定では、地域支援体制加算の要件に一般用医薬品（OTC医薬品）48薬効群の取り扱いが追加されるなど、薬局が果たす役割としてOTC医薬品を活用した健康サポート機能の充実が求められている。日本老年薬学会が公開した日本版抗コリン薬リスクスケールでは、抗コリン薬による認知機能障害は特に高齢者で生じやすいとされ、OTC医薬品も注意が必要である。在宅医療を受ける患者は、医師の処方による治療がメインとなるものの、在宅医療の現場においてOTC医薬品を利用している患者が見受けられる。当薬局では、訪問薬剤管理指導を行うにあたり、医療用医薬品だけでなく、患者がOTC医薬品を使用している場合は、使用の必要性の判断や成分の重複、相互作用など適切な薬剤管理に取り組んでいる。今回はその一症例を報告する。

【症例】

80代 男性の在宅患者

現疾患：高血圧症、前立腺肥大症

既往歴：脳梗塞

処方薬：カルベジロール錠10mg 0.5錠 1×朝食後
：カルベジロール錠2.5mg 1錠 1×朝食後
：リクシアナ[®]OD錠30mg 1錠 1×朝食後
：デュタステリド錠0.5mg 1錠 1×夕食後
：タムスロシン塩酸塩OD錠0.2mg 1錠 1×夕食後

OTC医薬品：パブロンゴールド[®]A〈微粒〉
：パンシロン[®]01プラス



ガーデン薬局（神奈川県海老名市）

ガーデン薬局内のOTC医薬品棚
OTC医薬品48薬効群を取扱い、
厳選した約100品目を配置して
薬剤師が販売している

【結果】

在宅患者が使用していたOTC医薬品

パブロンゴールド[®]A〈微粒〉

15歳以上の1日量

グアイフェネシン 180mg
ジヒドロコデインリン酸塩 24mg
dl-メチルエフェドリン塩酸塩 60mg
アセトアミノフェン 900mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩 7.5mg
無水カフェイン 75mg
リボフラビン（ビタミンB2）12mg

効能効果

かぜの諸症状（せき、たん、のどの痛み、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

注意すべき成分

dl-メチルエフェドリン塩酸塩
（交感神経刺激薬）

添付文書
高血圧の診断を受けた人は[相談すること]に該当
高血圧は、血圧の上昇に注意する

クロルフェニラミンマレイン酸塩
（第一世代抗ヒスタミン薬）

添付文書
排尿困難は[相談すること]に該当
抗コリン作用があり、尿閉のリスクに注意する

日本版抗コリン薬リスクスケールには「クロルフェニラミン」が該当し、スコア3で、リスクの強さが最も高いと評価されている

代替品
候補

エフェドリン類や抗ヒスタミン薬、
カフェインが無配合のかぜ薬

パブロン[®]50

15歳以上の1日量

アセトアミノフェン 450mg
グアヤコールスルホン酸カリウム 240mg
麦門冬湯乾燥エキス 1800mg

効能効果

かぜの諸症状（のどの痛み、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み、たん）の緩和

パンシロン01プラス[®]

15歳以上の1日量

ニンジン末 225mg
ケイヒ末 435mg
ビオジアスターゼ2000 90mg
プロザイム6 15mg
リパーゼAP6 60mg
L-グルタミン 405mg
アルジオキサ 150mg
カンゾウ末 225mg
炭酸水素ナトリウム 1200mg
炭酸マグネシウム 690mg
沈降炭酸カルシウム 360mg
メタケイ酸アルミン酸マグネシウム 240mg
ロートエキス 30mg

効能効果

飲みすぎ、はきけ（むかつき、二日酔・悪酔のむかつき、悪心）、嘔吐、胃部不快感、食べすぎ、消化不良、消化促進、食欲不振（食欲減退）、胃弱、胸やけ、胃痛、胃酸過多、げっぷ（おくび）、胃もたれ、胃重、胸つかえ、胃部・腹部膨満感

メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
（制酸薬）

添付文書
透析療法を受けている方は、[してはいけないこと（禁忌）]
腎臓病の診断を受けた人は[相談すること]に該当

高齢者は、腎機能が低下している可能性があるため注意する

ロートエキス
（抗コリン薬）

添付文書
排尿困難の症状のある人は[相談すること]に該当
高齢者は、腎機能が低下している可能性があるため注意する
認知機能低下の可能性にも注意する

日本版抗コリン薬リスクスケールには「ペラドンナ」が該当し、スコア3で、リスクの強さが最も高いと評価されている

代替品
候補

ロートエキスやアルミニウム化合物が無配合の胃腸薬

大正漢方胃腸薬[®]

15歳以上の1日量

安中散 2100mg
芍薬甘草湯エキス 420mg

効能効果

胃のもたれ、胃部不快感、胃炎、胃痛、げっぷ、食欲不振、腹部膨満感、胸つかえ、胸やけ、胃酸過多、腹痛、はきけ（むかつき、悪心）

【考察】

本症例のように、在宅医療を受ける患者でも注意を要するOTC医薬品を自己判断で使用しているケースがある。薬剤師は、OTC医薬品使用の有無を確認し、使用可否の判断やよりリスクの少ない代替商品を提案したりする力が求められる。こうした在宅医療におけるOTC医薬品の使用実態や薬剤師の介入による効果を示した報告はないため、今後データを集積し、研究を続けていく。

- 在宅患者においてOTC医薬品を使用しているケースが見られる
- 薬剤師は、OTC医薬品の使用の可否や代替案の提案、医師への相談を促すなど対応が求められる

神奈川県薬剤師会学術フォーラムin湘南医療大学
演題：在宅患者において抗コリン作用があるOTC医薬品のリスクを回避した一症例
所 属：ガーデン薬局
発表者：島田 顕
既に申告しましたように、本演題発表に関連して、開示すべきCOI関連にある企業等はありません